

元6年担任の先生との再会に大喜び！算数・数学で小中連携！

9月6日(水)、数学科の山田涼子先生が授業を公開しました(1年6組)。本時は、『数当てゲームの秘密』を見つけ、その秘密が正しいことを、文字式を使って説明できることがねらいです。

また、本時の授業では、生徒一人ひとりにタブレットが手渡され、ロイロノートアプリを使って、生徒が自分の考えを可視化したり、仲間と共有したりする等、令和4年度P P IIの重点・具体的取組事項である「ICTの活用等による個別最適な学びの推進」にチャレンジしています。



はじめに好きな数を1つ思い浮かべてください。その数に5をたして、2倍して、4をひいて、2でわってください。その答えから、はじめに思った数をひいてください。どんな数になるのかな？

図1 本時の課題「数当てゲーム」

グループ活動では、まるで生徒が数当てゲームのマジシャンになったかのごとく、「**同じ数をかけて割れば、はじめの数に近づくはず！**」や、「**最終的に、はじめの数の x を引き算しないと文字は消えないね**」などと、協働的に学ぶ姿が見られました。

また、**普段は「問題に答える」側の生徒が「問題を作る」という探求的な活動**を単元計画に位置づけて授業を実践することで、生徒は多様な見方や考え方を働かせ、これまでに学習した1次式の加減乗除の計算をフル活用する契機となっていました。

生徒インタビュー『今日の授業で何を学んだ？』

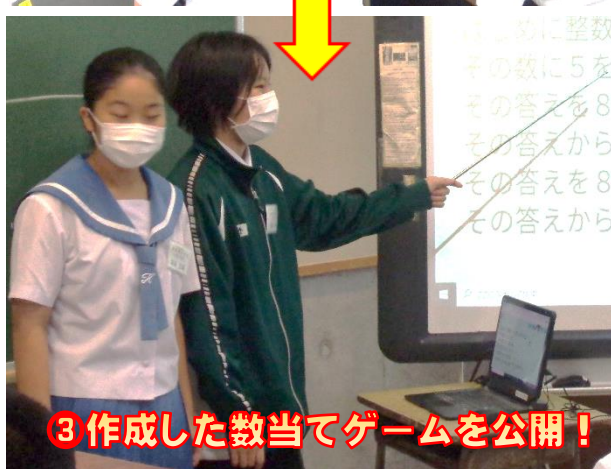
(Kさん) 友達と協力して、これまで勉強してきた計算を使って数当てゲームをつくることができたので楽しかった。



① 自力解決[1次式の計算]



② グループで数当てゲームを作成



③ 作成した数当てゲームを公開！

『小中9年間の学びの接続を踏まえた資質・能力の育成』 沖縄県教育庁義務教育課より

「中学校期における学力課題の改善」を目的に、本校の校区内小中学校の算数・数学科では、お互いの授業を参観することを通して、「**小中の学びの接続を意識した授業改善にチャレンジしよう**」と闘志を燃やし、教科を通した小中連携がスタートしました。

本日は、北丘小から與那嶺先生、南風原小から松茂良先生、他2名の先生がいらっしやいました。

1年生は、お世話になった元6年担任の先生との久しぶりの再会に大喜び！いつも以上に授業が盛り上がり！心身共に成長した姿を恩師に見せることができました。

【與那嶺先生のコメント】卒業から半年経っても、変わらずに一生懸命学習する子たちと会えて嬉しかったです。



小学校の先生方が数学の授業を参観

図2 小中連携を通して、小中9年間の学びの接続を踏まえた授業改善の充実を図る。